

「文部科学省 平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
 における「いじめ」に関する徳島県公立学校の調査結果について

1 調査結果の概要

見直し調査が行われていた「いじめ」に関する結果が、10月27日に文部科学省より公開された。

小・中・高等学校におけるいじめの認知件数は、小学校で397件、中学校で293件、高等学校で28件であった。全ての校種で前年度以上の認知件数になったことは、教員がいじめを見逃さず、多くは初期の段階で対応している結果と捉えている。

(1) いじめの態様と解消状況について

① 「いじめの態様」(9項目より複数回答)

	小学校	中学校	高等学校
①冷やかし, からかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる	293 [73.8%]	205 [70.0%]	16 [57.1%]
②軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして, 叩かれたり, 蹴られたりする	86 [21.7%]	58 [19.8%]	8 [28.6%]

表のように小・中学校及び高等学校とも上位は同じ区分のものであった。

以下, 小・中学校では「仲間はずれ, 集団による無視をされる」(小学校55件[13.9%], 中学校38件[13.0%]), 高等学校では「金品をたかられる」(4件[14.3%])であった。

②平成26年度年末での「いじめ」の解消状況

(「解消しているもの」・「一定の解消が図られたが継続支援中のもの」を合わせた件数)

小学校 397件中391件[98.5%] 中学校 293件中278件[94.9%]

高等学校 28件中28件[100.0%] 特別支援学校 10件中9件[90.0%]

※全体 728件中706件[97.0%]

2 徳島県公立学校調査結果の推移

(1) いじめ認知件数 (公立学校)

(単位: 件)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	150	141	355	277	【206】 → 397
中学校	247	193	351	257	【282】 → 293
高等学校	10	10	26	15	【23】 → 28
特別支援学校	1	0	0	10	【5】 → 10
県合計(千人あたり数)	408(5.0)	344(4.3)	732(9.3)	559(7.2)	【516】 728(9.5)
全国合計(千人あたり数)	74,742(5.9)	67,322(5.4)	191,004(15.4)	181,028(14.8)	182,972(15.1)

※平成26年度欄の【 】の数値は, 見直し調査前の認知件数。

3 今後の取組

引き続き, より多くの「いじめ」発見に努め, 早期対応・早期解決に全力で取り組む。また, 調査結果を個別に分析し, 課題を明らかにするとともに, 「徳島県いじめ問題等対策審議会」及び「徳島県いじめ問題等対策連絡協議会」において幅広い意見を求め, 対策を検討し, 施策実施に活用する。

【追加調査】

●いじめ防止対策推進法に関して (H27.10.1時点)

※24市町村の状況 <徳島県は策定及び設置済>

① 地方いじめ防止基本方針を策定した自治体数

	策定済	策定に向けて検討中	策定するかどうか 検討	策定しない
市町村	24	0	0	0

② いじめ問題対策連絡協議会を設置した自治体数

	条例による設置	条例設置ではないが、法の趣旨を踏まえた会議体を設置	設置に向けて検討中	設置するかどうかを検討中	設置しない
市町村	5	19	0	0	0

③ いじめ防止対策推進法及びいじめ防止基本方針に基づき、条例により、「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体数

	設置済	設置に向けて検討中	設置するかどうかを検討中	設置しない
教育委員会の附属機関	3	20	1	0
地方公共団体の長の附属機関	4	20	0	0

※県内すべての公立学校において、「学校いじめ防止基本方針」を策定済。

「学校におけるいじめ防止等の対策のための組織」も設置済。